

4. 問診について

岩崎直樹
イワサキ眼科医院

コンタクトレンズ (CL) 処方を希望する初診の患者さんが来院したとしよう。処方を始めるにあたり、問診で必要な項目と、その詳細について解説してゆく。

●まずコミュニケーション

初診の患者さんと接するにあたっては、まずは患者さんの目を見て挨拶する。私はイスを勧めて「どうぞこちらにお掛けください」ということにしている。まずコミュニケーションをとることが第一である。できれば簡単なお話をして緊張をほぐし、「アイズブレイク」ができるとベターである。

●動機について

動機によってニーズが変わり、患者さんのニーズに応えるのが CL 処方の最終的な目標であるため、動機の聴取は必須である。

CL をしてみたいという動機にはさまざまなものがある。

- 1) 整容的に使いたい：メガネを使いたくない、カラー CL で角膜の色や大きさを変えたい。
- 2) スポーツ時に使用したい。
- 3) CL でないと視力が出ないので使用したい。→円錐角膜など
- 4) その他の疾患で使用したい。→無虹彩/角膜白斑/メディカルユースの CL

動機により、どれだけ CL をする必要性が高いかが異なる。また常用するのか、一時的に使用するだけ (オケーショナルユース) なのかにより、CL の種類の選択が変わるため、細かく装用方法や時間の希望について聞いておく。オケーショナルユースにはハードコンタクトレンズ (HCL) は向かず、1 日使い捨て型ソフトコンタクトレンズ (SCL) がベストであるためである。例えば「週 3 日程度、スポーツで 4~5 時間使用したい」というのであれば、1 日使い捨て型 SCL が良い適応である。またクラブ活動を行う学生で「毎日 4~5 時間使用したい、できれば授業もそのまま受けたい」というのであれば、2 週間交換型 SCL が良い適応になると思われる。

表 1 レンズケアの要点

眼表面で付いた汚れと微生物を除去する
・こすり洗い
・すすぎ洗い
・MPS 浸漬による消毒
ケース内で CL が汚染される場合を考える
—水回りにおける菌/アメーバによる汚染
—MPS の消毒力では CL ケース内を無菌化できない
・すすぎ洗い
・レンズケースの洗浄/乾燥、定期交換

●CL 経験の有無、ケア方法の聴取

CL の装脱には経験が必要であり、また HCL と SCL で装脱方法が異なるため、どちらのレンズの経験があるかは必ず聞かないといけない。ただし、まったく未経験で初めて装用してみたいと来院した場合や、他院ですでに CL の処方を受けていて、自院には初診である場合などは明らかである。

その際の落とし穴は、経験があるからといって正しい装脱やケアができているとはかぎらないことである。

1 日使い捨て SCL 以外では、必ず CL を洗浄/消毒/保存して再使用に備えるための「レンズケア」が必要になる。SCL で一般的な MPS (多目的用材) のケア方法は表 1 のようになる¹⁾が、すべてを聞くのは冗長なので、

- 1) こすり洗いを毎日しているか。
- 2) CL を取り出した後のレンズケースを水洗いして乾燥させているか。そして定期的に交換しているか。

の 2 点につき問診し、できていない場合はケア方法を細かく問診するのが良い。

●既往歴

CL の装用を妨げる慢性障害であるアレルギー²⁾、ドライアイ、酸素不足 (図 1) について聞く。酸素不足に関しては装用時間と着けたまま睡眠していないかを、ドライアイに関しては乾燥感や眼精疲労の有無を問診して

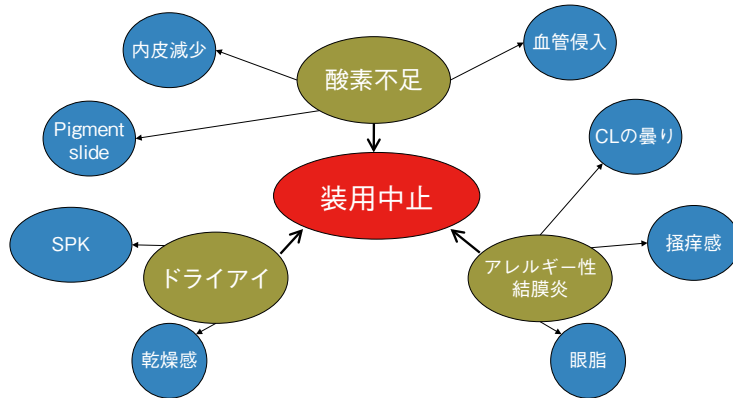


図1 CL装用による慢性障害

おく、特に重要なのはアレルギー要因の聴取である。幼少時からのアトピー体質や喘息をもっている患者さんに初めてCLを処方する場合には、初めからアレルギーにベストである1日使い捨てSCLを装用すべきだからである。

以上をまとめると、CLの処方最低限聞く必要があるのは、

- 1) CLを使用する動機。
- 2) オケーショナルユースか、常用したいか。
- 3) CL装用の経験はあるか。あれば、HCLかSCLか。
- 4) 経験がある場合、SCLでMPSを使っているか。使っていればこすり洗いとレンズケースの洗浄・乾燥・交換をしているかどうか。
- 5) アレルギー要因がないか。

ということになる。

診察を進めると、今までの装用方法などに問題があると考えられるさまざまな所見が出てくることが多い。たとえば、角膜輪部から強い血管侵入があれば、長時間装用や無理な装用パターンを行って酸素不足であったことが考えられる。また、上眼瞼に乳頭増殖が強ければ(図2)、アレルギー要因があることや、定期交換型SCLを交換せず使用していた疑いが出てくる。その場合には、



図2 CLによるアレルギー性結膜炎にみられる上眼瞼の乳頭増殖

その部分に関してより突っ込んだ問診が必要となる。

文 献

- 1) 岩崎直樹：シリコンハイドロゲルコンタクトレンズに対するレンズケアの注意点. あたらしい眼科 **28** : 1687-1689, 2011
- 2) 岩崎直樹：コンタクトレンズによる乳頭性結膜炎. あたらしい眼科 **25** : 1681-1682, 2008

世界初¹⁾ シリコンハイドロゲル素材¹²⁾の1日使い捨てコンタクトレンズ



ワンデーアキュビュー® トゥルーアイ®

眼の健康に、大切な4つの要素をひとつに

 より高い酸素透過性^{3,4)}	 乾燥感を軽減
 汚染リスクを軽減	 紫外線カット

詳しい製品情報については <http://acuvue.jnj.co.jp> はこちらをご覧ください。

*装用感には個人差があります。◎UV吸収剤を配合したコンタクトレンズは、UV吸収サングラスなどの代わりにはなりません。
 *1 Johnson & Johnson社は世界で初めてシリコンハイドロゲル素材を1日使い捨てタイプに採用しました。Johnson & Johnson関連会社により世界68か国ですでに発売されています。(2013年1月時点) *2 レンズ素材名: ナラフィルコンA *3 弊社従来製品(HEMAベース素材)との比較 *4 酸素透過率(Dk/L値): 測定条件35°C (-3.00Dの場合) Polarographic method, boundary and edge corrected, 118×10⁻⁹(cm²・mL/O₂・sec・mmHg)
 ◎コンタクトレンズは高度管理医療機器です。眼科医による検査・処方をお願いします。特に異常を感じなくても定期検査は必ず受けるようご指導ください。◎患者さんがコンタクトレンズを使用する前に、必ず添付文書をよく読み、取扱方法を守り、正しく使用するようご指導ください。

Johnson & Johnson
JOHNSON & JOHNSON K.K.
www.jnj.com